

水俣 漁民までも暴力沙汰

工場内に再度乱入

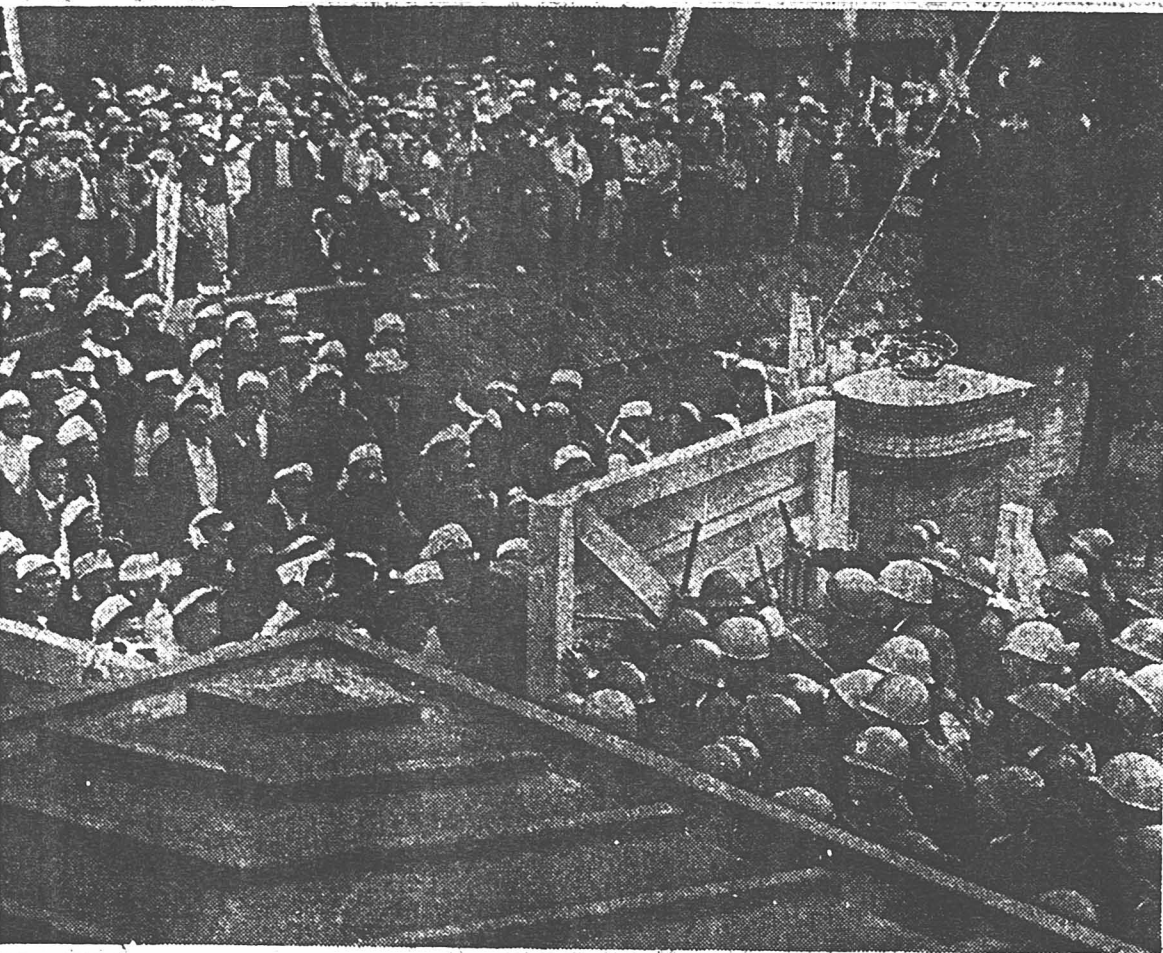
警官と衝突 百余人が負傷

国会調査団への陳情と漁民総決起大会のため二日早朝から水俣市に集まった不知火地区漁民約二千人は、正午すぎ団交申し入れが新日鐵水俣工場側の拒否にあったことから、総決起大会を取りやめて工場におしかけ、午後一時五十分と六時十五分からの二回にわたって工場内に乱入、施設や器材をたたきこわし、ついに出勤した警官隊と衝突して双方に百人以上の重軽傷者を出した。水俣問題には流血を招いて最悪の事態に突入したが、この漁民の暴力沙汰には県市民の強い批判がおきている。

団交拒否に怒り爆発

この朝団交組んで百間港に陸からプラカードのぼりを掲げ、調査団に村上眞漁連会長ら代表が上り、八代、天童など未知火したてで市中を、市役所前、陳情文を讀みあげて窮状を訴え、海産民約千人は午前十時すぎにおしかけて同所で米水中の国会へ。

このとき漁民たちはシラサケデ千で氣勢をあげながら総決起大会場の水俣駅前広場に向った



写真①工場になだれこむ漁民を阻止する警官隊②メチャメチャにこわされた工場内事務所

が、前日新日報六四一工場が十月十七日の第一回漁民大会のさい、工場押しかけて乱暴を働いた漁民八人を告訴したところから漁民を強く刺激、デモ隊は急に大会をとり止めた午後一時五十分上野門へ殺到した。

先頭が門を乗こまて内側から開けたため約十人がなだれてこみ、工場内本事務所、特殊研究室、守衛室、配電室に乱入、手当たりだい、ソリや木片でガラス窓を破り、室内にあった電子計算機、テレ

タイプ、タイプライター、電話機、書類などをめしめちやにした。急を聞いて午後一時、待機していた真警察隊の二個中隊（官△）が上野門へ出動、制止したが、たけり狂った漁民たちは警察のソープの窓をこわすかなを繰り返した。検束者一人を出して四十分後騒ぎは一応おさまったが、午後六時十五分、検束者の身柄を受け取り

に行つた竹崎、森北漁協長の婦りが、さうしてから漁民たちは再び投石をはじめ正門内へ乱入、ついに警察も武力行使したため騒ぎの激化で電灯をたた

工場の被害八百万円

この一回にわたる乱闘で柿山水俣署長が阻止した約千日間の殺傷、岩下同署次長がデモに全百千

きこわした騒動の中で五十分間にわたる双方がけしきもみあり、水筒、新聞はついに血を見る不尋常な立ちまわった。

の暴行はつては、あのお合われれば幹部はうつすることでもできなかった。

電話申し入れ聞かぬ

工場側久山総務部長の話、話し合いをもち一日に文書で申し入れをしたが電話があり、二日朝同文書が着いた。一日は電話の申し入れは漁協から全然受

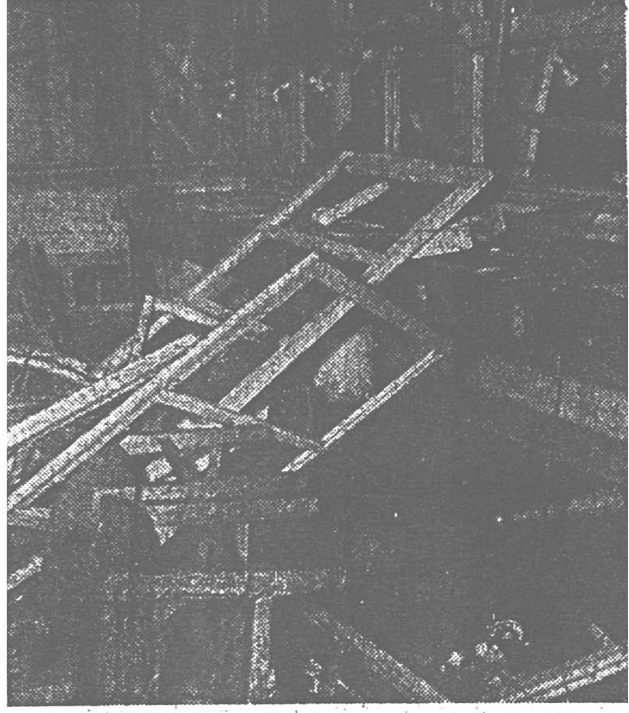
日の打撃を負うた被害額八十五人、西田、森長をめぐむ工場側三人の真被害者を出したばかり漁民側の負傷者も二、四十人（竹崎、森北、漁協長）といふ。工場側の損害は三日調査するが被害額は八百万円に達するものとみられている。

なお漁民たちはもう午後九時を解散したが、三日も大会をひらきもつたので警察隊も待機して厳重にその動きを監視してゐる。

高橋県本部警備部長の話、われわれとしては情勢を平然とものとすというのが任務であるため、武力行使する準備はならなければ行動に移れない。

電話で再三交渉

竹崎、森北漁協の話、電話で工場側に再三回交渉をもつように交渉したが、これを拒否されたのでサンギン二千で水俣船についで大会をひらき定めたが、怒った漁民は暴れこんだ。漁民



たうとて。うなづけし時の
時をゆるぎぬたが、一葉に
わかれしとてくつたしとて
またまたとてくつたしとて
いふとて。時をゆるぎぬた
たう。